

再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担 当 課:道路局 国道・技術課、高速道路課

担当課長名:西川 昌宏、松本 健

事業名	一般国道4号 東埼玉道路(八潮～松伏) ひがしさいたまどうろ やしお まつぶし				事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局 東日本高速道路(株)	
起終点	自:埼玉県八潮市八條 至:埼玉県北葛飾郡松伏町田島 やしお はちじょう きたかつしか まつぶし たじま						延長	9.5km	
事業概要									
一般国道4号東埼玉道路(八潮～松伏)は、埼玉県東部地域の交通混雑緩和や地域振興を支援する規格の高い道路ネットワークの強化、災害時の代替路確保を目的とした埼玉県八潮市八條から埼玉県北葛飾郡松伏町までの延長9.5kmの道路事業である。									
R2年度事業化			S63年度都市計画決定			R4年度用地着手		R4年度工事着手	
全体事業費		約2,130億円		事業進捗率 (令和6年3月末時点)		約4%		供用済延長 —	
計画交通量		20,500～40,300台／日							
費用対効果分析 (参考)	B/C (事業全体)		EIRR (事業全体)		総費用 (残事業)/(事業全体) 1,556/1,642円		総便益 (残事業)/(事業全体) 2,213/2,213億円		基準年
	1.3		5.7%		事業費:1,447/1,533億円 維持管理費:109/109億円		走行時間短縮便益:2,166/2,166億円 走行経費減少便益:29/29億円 交通事故減少便益:18/18億円		令和6年
	2.0 [2%]								
	2.5 [1%]								
	(残事業)		(残事業)						
	1.4		6.1%						
2.1 [2%]									
2.6 [1%]									
事業の効果等									
(1)交通混雑の緩和および交通事故の減少									
・国道4号現道には、「首都圏渋滞ボトルネック対策協議会」により主要渋滞箇所と特定された交差点が多数存在しており、特に神明町交差点や新善町交差点での速度低下が顕著。									
・国道4号現道の事故類型別事故発生状況は、車両相互の追突事故が約6割。									
・東埼玉道路(八潮～松伏)の整備により、現道の交通の転換が図られ、交通渋滞緩和及び交通事故の減少に期待。									
(2)周辺地域の開発に寄与									
・東埼玉道路沿線では、土地区画整理事業や大型物流施設、大規模店舗が立地し、新規産業団地についても整備中。									
・東埼玉道路の整備は、開発事業を支援するとともに、地域経済の活性化に寄与。									
・沿線に立地する企業等からも整備への期待の声。									
(3)物流の効率化による生産性の向上									
・東埼玉道路が整備されることで、円滑な物流を確保でき、千葉県湾岸地区方面との行き来や、春日部・五霞方面への行き来のアクセス性が向上することで、産業活動の生産性が向上。									
・また、東埼玉道路が整備されることで、高速道路ICへ15分以内に到着できる地域が拡大することで物流の効率化による生産性の向上に寄与。									
(4)道路ネットワーク強化による災害時の支援									
・近年の豪雨や台風では、国道4号において冠水による通行止めが発生し、長時間に渡って緊急車両やトラックが通行不可となった。									
・東埼玉道路専用部が整備されることで、浸水が想定される区間を避ける道路ネットワークとして機能し災害時の支援活動や物資輸送に役立つ。									
関係する地方公共団体等の意見									
・埼玉県知事の意見： 東埼玉道路は、東北道や常磐道を補完し、国道4号の渋滞緩和や地域の活性化、災害時の緊急輸送道路としての役割を担う、非常に重要な道路です。									

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- 事業の進捗状況、残事業の内容等

- 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

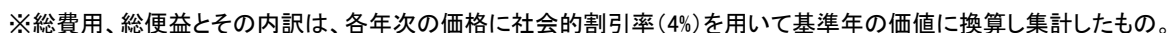
施設の構造や工法の変更等

- 対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業概要図



※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)